

令和7年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品



東京農業大学稻花小学校1年
松藤 彩桜



厚木市立相川小学校2年
木村 紗来



秦野市立渋沢小学校3年
竹本 一就



秦野市立南小学校4年
小林 千織



厚木市立相川小学校4年
木村 健輝



厚木市立知恵小学校5年
関野 花穂



伊勢原市立高部屋小学校5年
中村 花音



秦野市立大根小学校6年
宇佐美 優空



厚木市立厚木小学校6年
内田 桃愛



愛川町立高峰小学校6年
阿部 風沙



藤沢市立大庭中学校1年
柴田 結衣



厚木市立森の里中学校1年
山口 あかり



厚木市立睦合東中学校2年
仁木 陽愛



厚木市立睦合東中学校2年
白水 りのん



茅ヶ崎市立円蔵中学校3年
児玉 芽依



厚木市立厚木中学校3年
清水 智佳



川崎市立川崎総合科学高等学校1年
袴田 衣里奈



川崎市立川崎総合科学高等学校1年
山崎 琴未



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
薦田 佳那



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
廣島 安優



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
森田 せれ



川崎市立中央支援学校高等部分教室3年
鈴木 章紘



神奈川県立小田原城北工業高等学校3年
久保田 柚妃



神奈川県
選挙管理委員会

あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童生徒の皆さんを対象に、毎年実施されています。

今年もたくさんの応募があり、どの作品も選挙の大切さを多様な表現で訴えかけていました。そのため選考が非常に難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された児童生徒の皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さん、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、218校から、2,199点の応募がありました。

審査結果

令和7年9月26日に行われた県の審査会において、小学生10名、中学生6名、高校生7名の計23名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生22名、中学生17名、高校生8名の計47名の方の作品が佳作となりました。

審査員

宮田 一宏（神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課高校教育企画グループ副主幹兼指導主事）

與那城 智栄子（神奈川県政策局知事室副主幹・広報デザインアドバイザー）

石橋 葉弥・稻場 理紗・岩瀬 晴子・北澤 葦・西平 優美・濱口 菜々美・枇杷橋 希実・

矢崎 匠・山崎 颯太・横山 航（かながわ選挙カレッジ実習生10名）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長・書記長代理



神奈川県ご当地めいいくん

“かもめいいくん”

審査講評

審査員代表 宮田 一宏

何かについて話すとき、その対象を知らずして語ることはできません。語ったとして、浅くなります。これは「表現」の性質といえるでしょう。絵を描くことは、話すことと同じく「表現」の仲間です。対象について知り、考えることは絵を描く場合にも大切な過程です。

今年も「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が開催され、たいへん多くの作品が県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から集まりました。県の審査で23点を優秀作品として選出し、県の代表として全国審査へ出品しました。

児童生徒の皆さんにはコンクールに際し、選挙について学び、あるいは自ら調べ、よく考えた結果、それぞれの主題を持つに至ったのだと思います。「選挙」と真摯に向き合った時間が、素晴らしい作品を生み出すことにつながったのです。

・関野 花穂 さん 満開の桜は、切り絵です。綺麗なグラデーションは一枚一枚染められたものです。様々な表情の桜を見ていると、投票する人々の明るい未来を予感させてくれるようです。画面全体からポジティブな印象があふれ出ています。まさに「明るい選挙」を表現していると思います。

・阿部 凪沙 さん これまでの応募作品の中で、期日前投票について描いた作品はあまりなかったそうです。前例のないテーマにチャレンジしたところが印象的でした。明快な線や色で表現されているので、多くの方にとって、とても見やすいポスターになっていると思います。

・仁木 陽愛 さん 投票所に向かう人物の並々ならぬ決意が、そのポーズ、なびく服、眉毛や汗など、さまざまな部分から伝わってきます。また漢字を赤にすることで、読むときのリズムを作り出していると思います。すべての要素がかみ合って、動き出しそうな力強いポスターになりました。

・児玉 芽依 さん 作者のユーモアを感じましたし、洞察にも感心しました。言葉遊びではあるのですが、社会的一面を捉えている鮮やかな表現であるといえるでしょう。

・袴田衣里奈 さん 投票用紙は一枚ではたいへん薄いけれど、積み重なることで街にもなりうる。そんな作者の意図がすぐれた構成力によって表現されています。ビルと、詰みあがった投票用紙の切り替えしや、背景のシルエットで表された街並みなど、主役と脇役がよく整理されています。

・廣島 安優 さん 表現において「引き算」が重要視されることがあります。このポスターには、人物の表情が描かれていません。背景など、他にも描かれていないものがたくさんあります。それらを引き算した分、観ている我々の中にさまざまなイメージが足し算されていくのです。

・鈴木 章紘 さん 「自分の気持ちをシートしよう」、「受け止めてやるぜ！」 背中を押してくれるメッセージが真っ先に目に飛び込んでいます。なんだろうと思って細部に目を移すと、サッカーボールに「投票」と書いてある。投票してみようかな、と思わせてくれる一枚でした。

人々が選挙を身近に感じ、選挙の大切さや明るく正しい選挙について考える機会となるよう、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が今後も継続され、たくさんの素晴らしい作品が集まることを期待しています。